

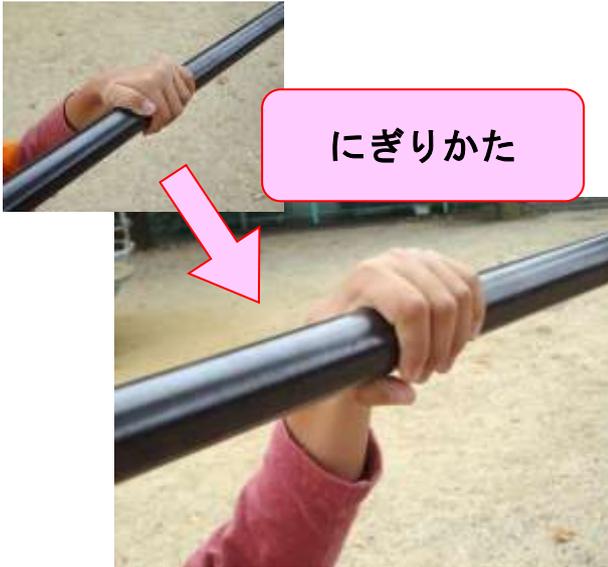
ゆうぐあそび

遊び全体を通して、逆さ感覚や腕の力を身に付けることができます。

1 てつぼうあそび

① てつぼうどうぶつえん

子どもが、自分の体を支えることができるよう、親指をいれてしっかりてつぼうを握るよう指導しましょう。



にぎりかた

サル



ナマケモノ



オランウータン



コウモリ



ダンゴムシ



子どもが安心して挑戦できるように、鉄棒をしっかり握っているか、膝がかかっているか、安定して着地できるか、声をかけましょう。

② ぶらさがり

ぶらさがる



足をふる

からだをふる



自分の体を振る動作は、瞬間的に体に力を入れる（締める）動作につながります。

上手にできなくてもスモールステップで挑戦することが大切です。

③ てつぼうの上でできるかな

あがる



ふとん



じてんしゃこぎ



まわってみよう



自分のからだか逆さになる瞬間や、からだか鉄棒から離れていく瞬間を体感しながら、自分のからだを操作する力を身に付けていきます。

着地するまで鉄棒をしっかりと握っておくことや着地の前に足を伸ばしきらないことなど、そばに寄り添いスモールステップで挑戦させましょう。

2 ジャンゲルジムあそび

① りょうて・りょうあし



安全面に十分配慮し、それぞれの遊具に大人が寄り添い、声をかけながら遊ぶようにしましょう。

② かたて・りょうあし



③ かたて・かたあし



④ ぶらさがり



⑤ おひるね



⑥ さかさま



低い位置から様々な動きに挑戦させましょう。